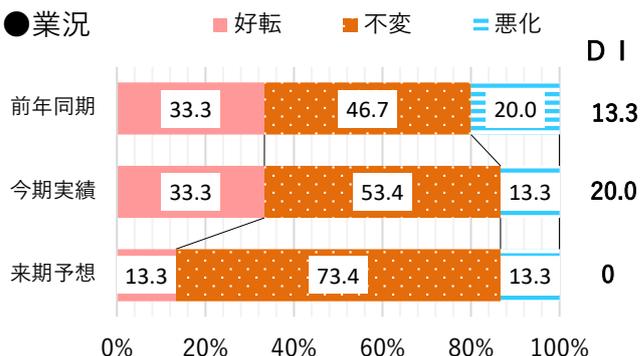


# 運輸・倉庫業

## 業況、売上、採算

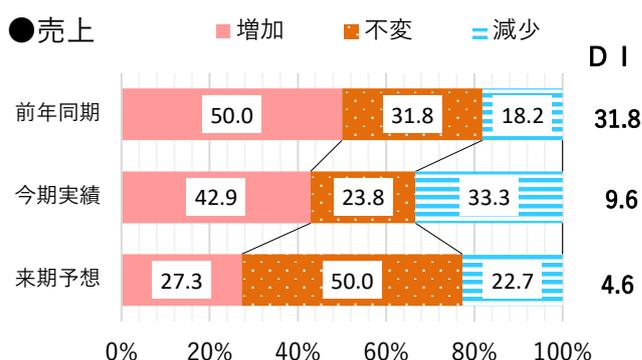
今期（2025.10～12）の業況判断DIは20.0 ●業況  
で、前年同期（2024.10～12）と比べ6.7ポイント  
上昇しました。

来期（2026.1～3）の業況DIは今期と比べ  
（2025.10～12）20.0ポイント低下すると予  
想しています。



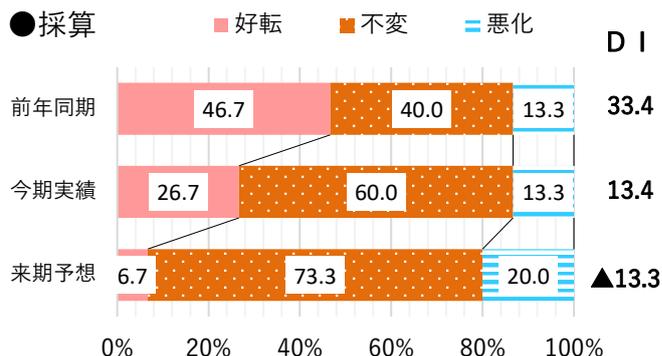
今期の売上高DIは9.6で、前年同期と  
比べ22.2ポイント低下しました。

来期の売上DIは今期と比べ5.0ポイン  
ト低下すると予想しています。

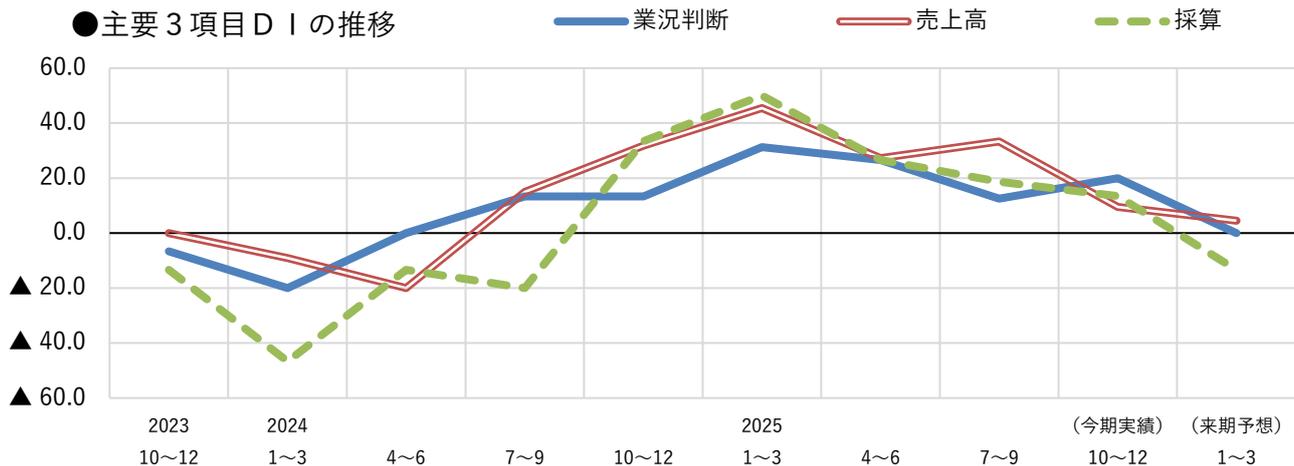


今期の採算DIは13.4で、前年同期と比  
べ20.0ポイント低下しました。

来期の採算DIは今期と比べ26.7ポイン  
ト低下すると予想しています。



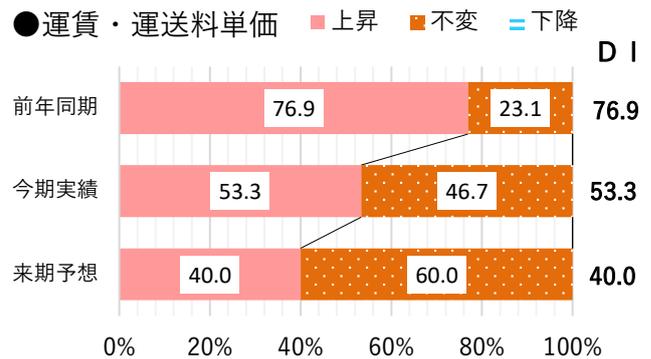
### ●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

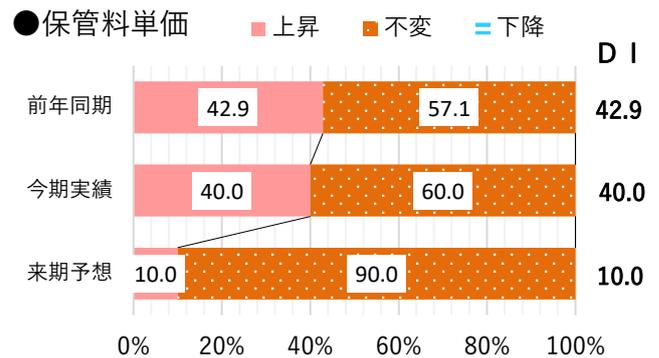
今期の運賃・運送料単価DIは53.3で、前年同期と比べ23.6ポイント低下しました。

来期の運賃・運送料単価DIは今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



今期の保管料単価DIは40.0で、前年同期と比べ2.9ポイント低下しました。

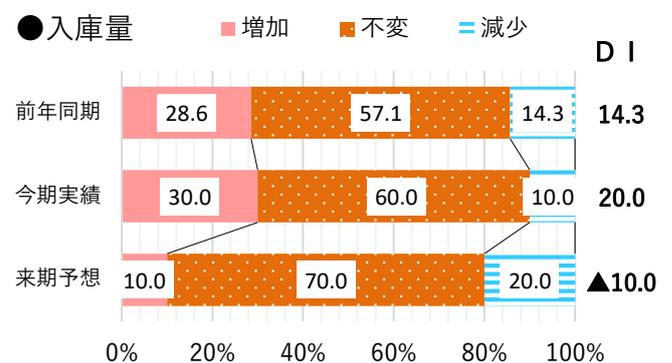
来期の保管料単価DIは今期と比べ30.0ポイント低下すると予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

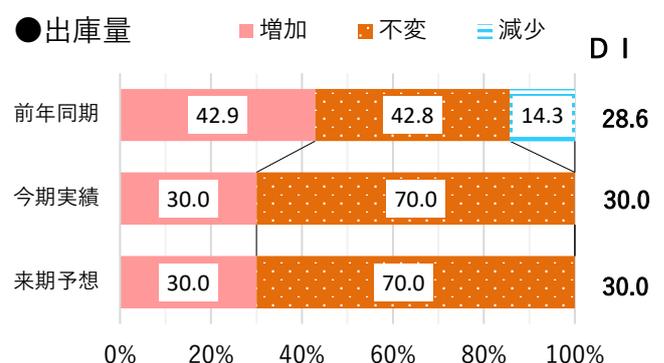
今期の入庫量DIは20.0で、前年同期と比べ5.7ポイント上昇しました。

来期の入庫量DIは今期と比べ30.0ポイント低下すると予想しています。



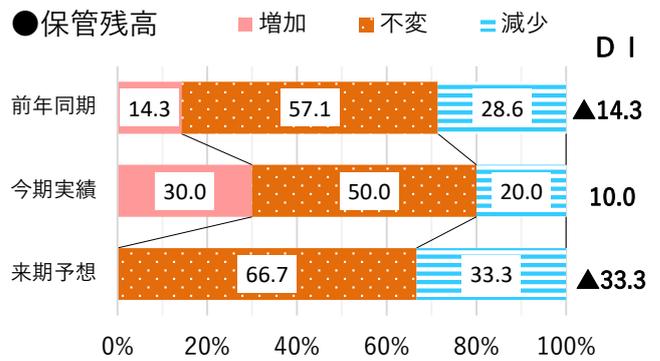
今期の出庫量DIは30.0で、前年同期と比べ1.4ポイント上昇しました。

来期の出庫量DIは今期と比べ変化なしと予想しています。



今期の保管残高DIは10.0で、前年同期と比べ24.3ポイント上昇しました。

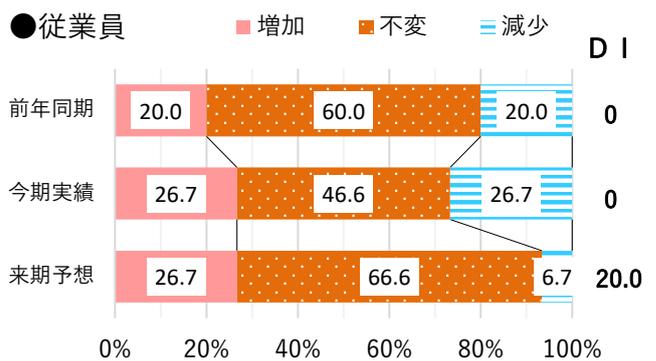
来期の保管残高DIは今期と比べ43.3ポイント低下すると予測しています。



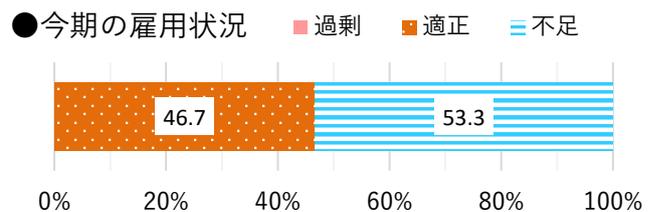
### 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0で、前年同期と比べ変化なしとなりました。

来期の従業員DIは今期と比べ20.0ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は46.7%、不足していると回答した企業の割合は53.3%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、40.0%を占めました。

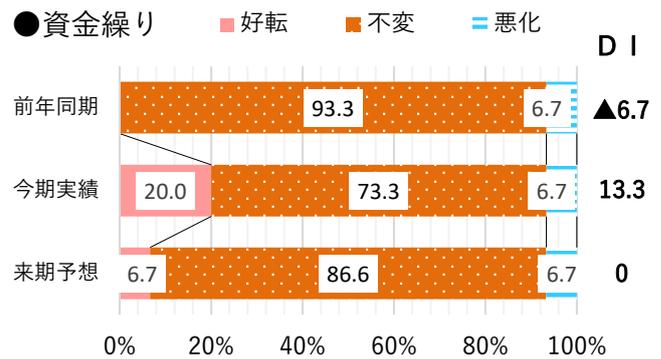
今期従業員数	今期の雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	6.7%
	不足	20.0%
不変だった	過剰	0%
	適正	40.0%
	不足	6.7%
減少した	過剰	0%
	適正	0%
	不足	26.7%

※回答総数15社

資金繰り、設備投資

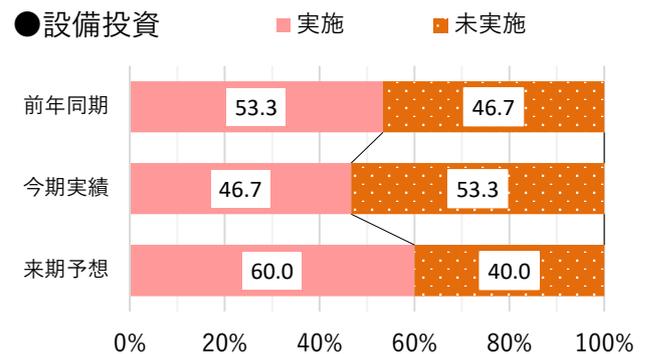
今期の資金繰りDIは13.3で、前年同期と比べ20.0ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



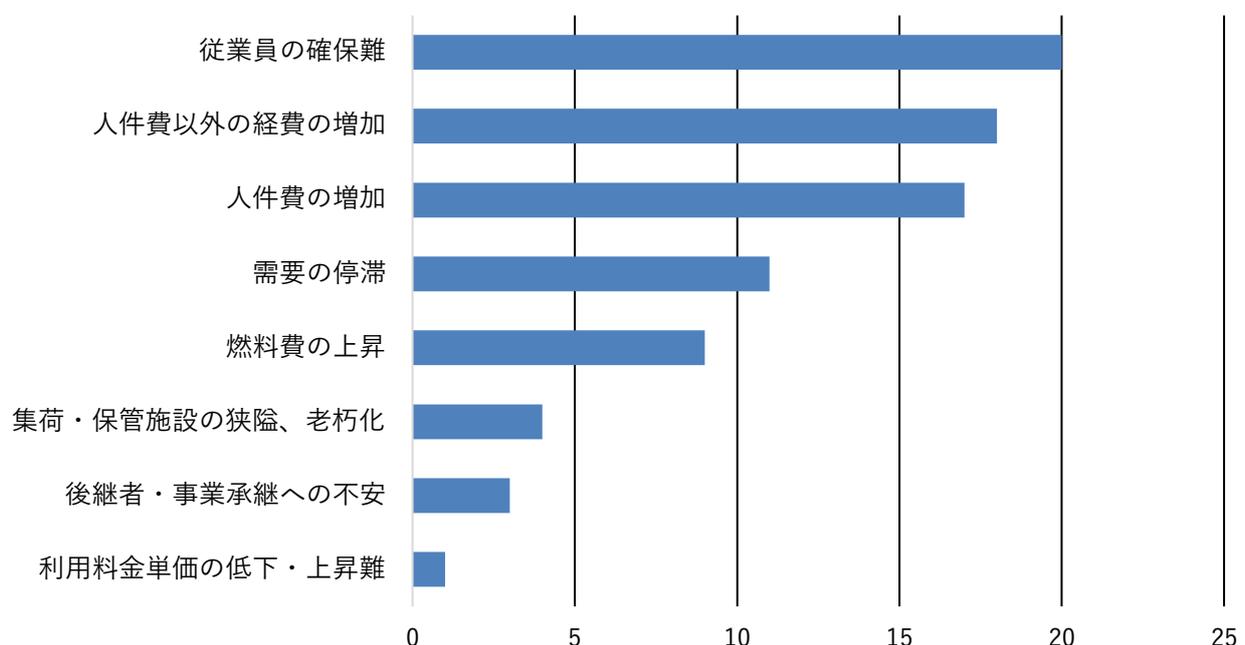
今期の設備投資はを46.7%が実施と回答し、前年同期と比べ6.6%低下しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「集荷・保管施設」「OA機器」「福利厚生施設」（同位）でした。

来期は60.0%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「人件費以外の経費の増加」、3位が「人件費の増加」の順となっています。



## 企業の声

## [今期の業況について]

- 売上は微増したが、人件費や燃料などの経費の増加により採算は良いとは言えない。(道路旅客運送)
- 高齢化により、乗務員が減少している。(道路旅客運送)
- 売上額が増加した。(道路旅客運送)
- 単価の上昇と新規顧客獲得の成果もあり、賃金を上昇させたが業績は好転している。(道路貨物運送)
- 玉ねぎやジャガイモなどの野菜が不作で、運送量が減少した。(道路貨物運送)
- 新幹線関連の工事の運搬量増加に伴い売上が増加した。(道路貨物運送)
- 価格転嫁により売上額が上昇した。(道路貨物運送)
- 燃料費が落ち着いてきている。(道路貨物運送)
- 備蓄米の出庫があったことで保管残高は減少した。(港湾運送)
- 不漁や天候不順による生育不良で水産品や農作物の貨物の減少が著しい。コロナ渦以降、旅客の好調が続いており、新造船の就航も後押しとなった。人材確保は苦戦している。(水運)
- 在庫量が大幅に減少した。(倉庫)
- 売上単価が増加した。(倉庫)

## [来期の業況について]

- 運賃の値上げに期待している。(道路旅客運送)
- 売上の維持を予想する。(道路旅客運送)
- 1月～3月では荷動きがほぼないので、運輸部門での売上が減少となる見込みである。(道路貨物運送)
- さらなる単価適正化に向けて行動している。(道路貨物運送)
- 旅客は国内旅行ブーム継続を見込む。貨物は天候次第で年々北海道も猛暑傾向にあるが、来期も不変と推察する。人材確保は苦戦を予想する。(水運)
- 出庫量の増加が予想される。(倉庫)